

北九州市の シンボルツリー



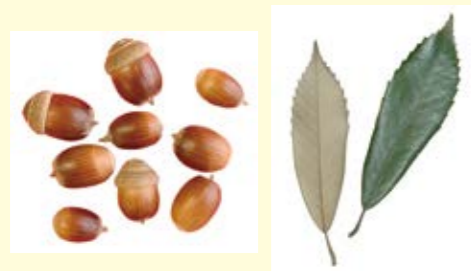
昭和48年3月、「北九州市グリーンプラン基本調査委員会」から、緑化計画の推進と自然保護思想の高揚を図る目的でイチイガシをシンボルツリーとするよう提言がなされました。市はこれを受け、昭和49年(1974年)3月29日、勝山公園で行われた北九州市植樹祭の席でシンボルツリーと宣言しました。

シンボルツリー イチイガシ

イチイガシの森は、かつて、北部九州一帯においても水条件の良い丘陵や山麓に広く分布していました。しかしながら、その森は人間の暮らしの拡大とともに耕作地や居住地として開発され、その数が大幅に減少したと言われています。

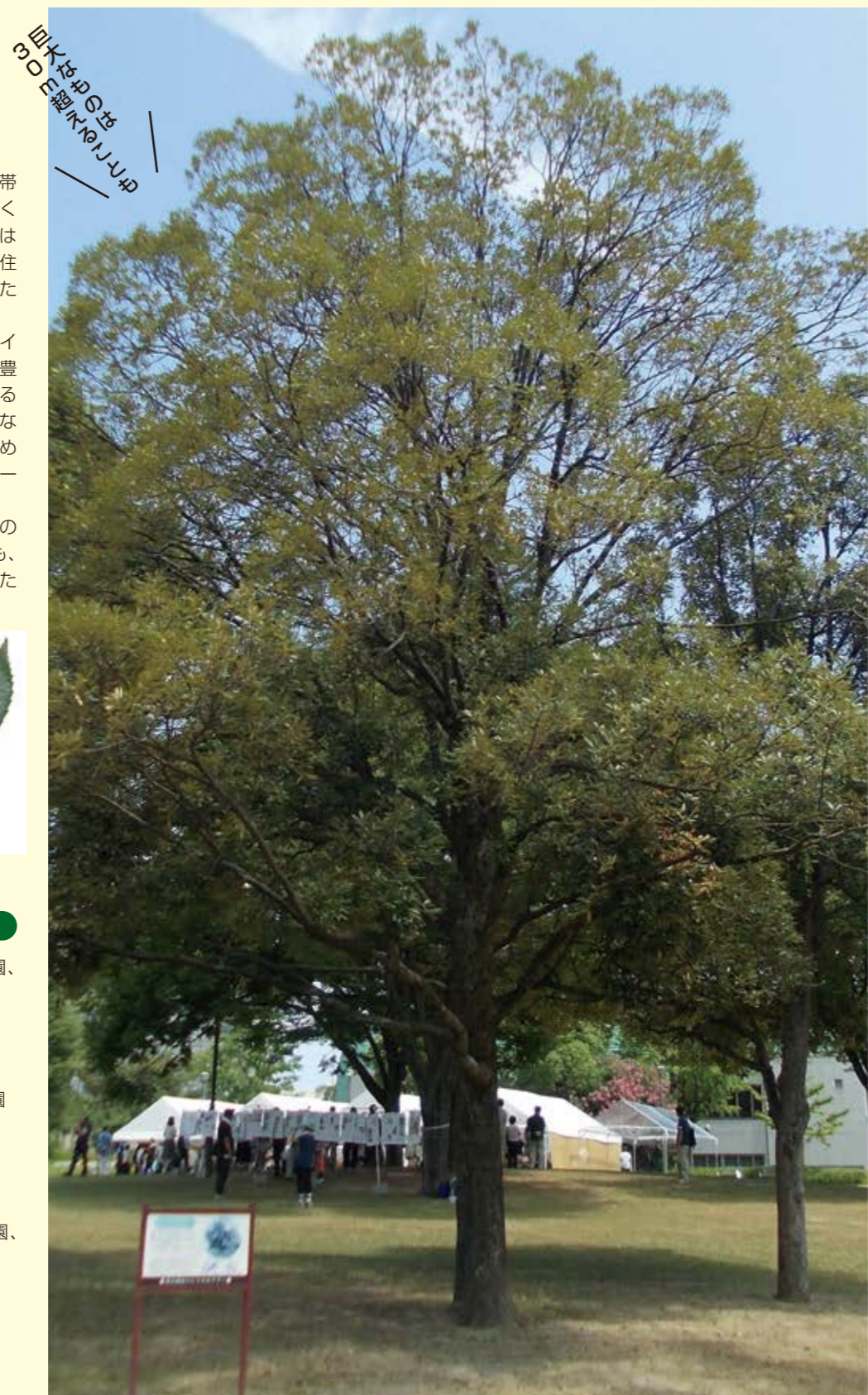
このような人間の暮らしの拡大とイチイガシの減少の歴史を学び、私たちの生活が豊かになる一方で、失われていった自然があることに気づき、市民が「自然と人間とのつながり」を考えて行動ができるよう願いをこめて、イチイガシは北九州市のシンボルツリーとなりました。

北九州市内では、神社の境内や山林地等の自生木(自然に生育している木)のほかにも、シンボルツリーの指定にあわせて植栽した公園でも見ることができます。



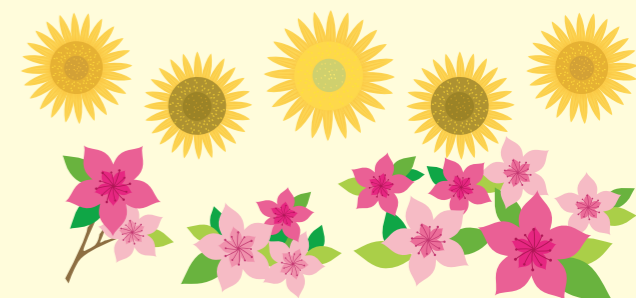
イチイガシが植栽されている公園

- 門司** 老松公園、萩ヶ丘公園、和布刈公園、大里泉ヶ丘公園
- 小倉北** 黒住公園、三萩野公園、山田緑地、勝山公園、足立公園
- 小倉南** 吉田太陽の丘公園、長野緑地
- 若松** 稲国公園、二島西公園、岬ノ山公園
- 八幡東** 高炉台公園、東田大通り公園、帆柱自然公園(森林植物園)
- 八幡西** 皇后崎公園、力丸記念公園、城山緑地
- 戸畑** 中央公園、夜宮公園、美術の森公園、岩ヶ鼻公園、都島展望公園



山崎中央公園
30 5 緑化課 10-1-10

北九州市の花



昭和57年に市制20周年を記念し、市の花として「つつじ」と「ひまわり」を制定したものです。市民の皆様からの応募をもとに、北九州市の花選考委員会に諮問しその答申を受けて制定しました。「つつじ」も「ひまわり」も、北九州市の気候風土に適合し、花が美しく品位があり、市民の皆様親しまれている花です。

市の花① ひまわり

太陽の方向を向いて花を咲かせるひまわりは、活力とダイナミックさを感じさせます。また、学校の花壇などにも取り入れられており、今後の花いっぱい運動にも役立つ花です。キク科の不耐寒性一年草で、サンフラワーともいわれ、属名のヘリアンサスはギリシャ語のヘリオス(太陽)アンサ(花)に由来します。原産は北アメリカです。

ひまわりBIGりコンテスト in school

北九州市の子どもたちに、学校教育の中で市の花であるひまわりを種子から育ててもらうことにより、ひまわりの育成を通じて郷土愛や緑の普及・啓発を図り、環境首都づくりへの関心を持ってもらうことを目的とした「ひまわりBIGりコンテスト in school」があります。(詳しくはP88)



別名サンフラワー



山崎中央公園
30 5 緑化課 10-1-10

市の花② つつじ

家庭の庭などでよく見られ、また、市の公園や、公共施設にも多く用いられており、都市緑化に役立っています。双子葉植物合弁花類です。ツツジ科ツツジ属植物の総称で、日本各地に多く自生しています。また、庭園、公園等にも多く植栽されて広く観賞されています。常緑性のもも落葉性のももあり、普通低木ですが、中には小高木となるものもあり、よく分枝して茂ります。

つつじの名所

- 小倉南** 文化記念公園、総合農事センター
- 若松** 高塔山公園
- 八幡東** 高炉台公園 など

